

ワークショップと準備するもの

ワークショップとは、問題解決や学び・創造のために行う参加型の活動です。一般的にファシリテーター(司会者、指導者)を中心に、参加者全員が体験しながら学ぶ活動を言います。

ワークショップに必要なもの

ファシリテーター

活動を行うにあたって、ファシリテーターとよばれる司会者、指導者が必要になります。行う活動を参加者に教えたり、参加者が戸惑っている時に手助けをする役です。

ユーギリエイターのワークショップでは、総合司会1名と、各ゲームを行うテーブルごとにひとりのファシリテーターがいるのが理想です。ファシリテーターの人数確保が難しい場合、10人につき1人程度(参加者20人であれば二人)でも実施できますが、はじめての場合は大人の参加者に協力してもらうなどの工夫をすることをお勧めします。

各ゲームに必要な物、カード

ワークショップで行うゲームで使うものをあらかじめ用意しておく必要があります。カード類は通常のコピー用紙ではカードを取りにくかったり、配りにくかったり、折れたりと問題が起こる場合がおおいので、厚紙に印刷することをお勧めします。当サイトで印刷できるカードはどれも名刺印刷用紙のサイズになっているため、ワークショップ開催予算に余裕がある場合は、名刺印刷カードに印刷するなどしてカードをご準備ください。

プレゼンなどを提示できるパソコン

ワークショップで行うゲームの説明動画を観たり、提示教材を表示したりするにはパソコンを使うのが便利です。ワークショップを行う場合は当サイトの動画やプレゼンを表示するためのパソコンを一台用意することを推奨します。

プロジェクターやモニターなど

上記のパソコンの動画をワークショップ参加者全員でみるために、プロジェクターやモニターなど、パソコンの画面を大写しにできる機器を用意することをお勧めします。そういった機器の用意が難しい場合、プレゼンを印刷しておくことで代用もできます。

場所の確保

あらかじめワークショップを行うための場所を確保する必要があります。15名以上の人数で行う場合、公民館や役所の会議室など公の場所を借りる方法があります。ただしそういった公共の場所は何か月か後まで予約で埋まって使えない場合もあるため、集客や呼びかけを始める前に場所が借りられるかの確認をしておいたほうがよいでしょう。